

「保健医療科学」
第70巻 第2号 予告

特集：HACCP導入による今後の食品衛生（仮題）

HACCPの制度化による食品衛生行政の今後（仮題）……………	小野澤由子
食肉・食鳥肉製品のハザードとその管理（仮題）……………	朝倉宏
乳・乳製品のハザードとその管理状況の評価のための指標菌について（仮題）……………	岡田由美子
水産食品のハザードとその管理（仮題）……………	大城直雅
給食施設等でのHACCP導入の取り組みとそれに伴うメリット・デメリットを含めた管理内容の変化(仮題) ……………	池田直人
自治体における中小企業を含めた事業者へのHACCP導入のための積極的な取り組み（仮題）……………	鈴木昭彦
自治体による輸出促進を含めた地域産業支援とHACCP等による衛生管理基盤整備の取り組み（仮題） ……………	壹岐和彦, 北野智一
HACCPを前提とした食品衛生監視員等に対する研修について（仮題）……………	温泉川肇彦

編 集 後 記

「保健医療科学」では、第68巻より、第1号において、日本の公衆衛生分野の最新のトピックを国際発信することを目的とした全文英文による特集を発行しており、本号はその3回目である。これまでのトピックは、第68巻では、母子保健、高齢者歯科保健、環境保健、医療経済評価、介護、難病、患者安全、第69巻では、保健所、健康日本21、ソーシャル・キャピタル、国際人材育成、危機管理、医療情報、建築物衛生、たばこ対策であった。そして第70巻の本号のトピックは、厚生労働科学研究、保健医療人材育成、医療技術の費用対効果評価、栄養政策、サービス付き高齢者向け住宅、医師の働き方改革である。

これらのトピックは全て国立保健医療科学院が関与・貢献しているものであり、これまでどおり広範かつ多様である。しかしこのように振り返ってみると、ばらばらのように見えたトピック、つまり国立保健医療科学院の活動の間に重なりとつながりが見えてくる（ような気がする）。またそれらでカバーできていないニッチ（隙間）も見えてくる（ような気がする）。

もう少しこの特集を続けていけば、国立保健医療科学院、そして日本の公衆衛生の方向性が見えてくる（ような気がする）。

（政策技術評価研究部 武村真治）